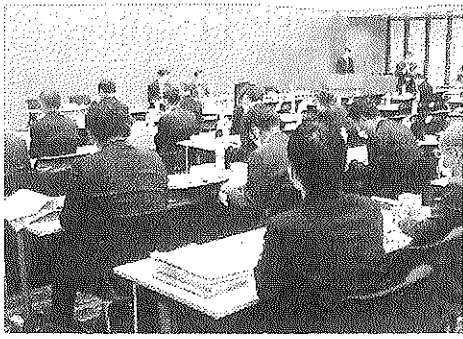


三位一体で木の文化継承

ウッドレガ
シー推進協 総会、要望活動も報告

一般社団法人木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(原口博光会長)は13日、「第10回理事会・臨時総会」と「第4回要望活動発表会」を東京都千代田区



の衆議院第一議員会館で開催した。要望活動の発表会では、「木の総合文化(ウッドレ

ガシー)を推進する議員連盟(衛藤征士郎会長)に提出した要望書の内容を各担当者が報告した。

同協議会は「持続可能な環境遺産を次世代に残す」ことを目的に、このほど建築家の隈研吾氏、藤田勲氏を顧問に迎え、パワーアップした形で活動している。当日は同議員連盟から衛藤会長、太田昭弘会長代行、吉野正芳副会長、石田祝穂共同幹事長が出席。報告に耳を傾けるとともに、「官、民、政界が三位一体で取り組むことが必

要(衛藤会長)と話し、行政関係者と緊密に連携していくことを期待した。

要望書では国土交通省、防衛省への要望として、防音工事の外部に面する窓に使用する材料について、補助金制度がアルミ製か樹脂製に限定されていることから、同等の性能を有する木製窓の追加を求めた。

情報スペース